

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9972		事務事業名称	マッピングシステム管理費					短縮コード	経常	9972	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		平成8年度 新行政改革大綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
ライフラインである上下水道施設について、管路を適切に維持管理して、緊急時でも管路情報を正確かつ迅速に処理できるようデータベース化する。（平成21年度までは石綿セメント管更新事務費として実施。平成22年度より、配水管等改良事務費と本事業に振り分けた。）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
老朽化した管路の更新及び土地区画整理事業等による管路施設の増加により事務量は増えていく中，電子化による効率的な運用が求められる。						大項目（節）	04	水道					
						中 項 目	01	水道					
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化					
						細 項 目	03	緊急時対策の推進					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成11年11月 ～ 平成24年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	マッピングシステム運用に係る管理費									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 上下水道施設管理マッピングシステムデータ更新・ファイリング入力業務委託 上下水道施設管理マッピングシステム保守業務委託 上下水道施設管理マッピングシステム賃借									
	※平成23年度に計画していること： 上下水道施設管理マッピングシステムデータ更新・ファイリング入力業務委託 上下水道施設管理マッピングシステム保守業務委託 上下水道施設管理マッピングシステム賃借									
意図 （何を狙っているのか）	工事により新設及び改良したものについて，更新すべくマッピングデータを速やかに入力する。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	21年度	22年度		23年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	マッピングシステム管理費	千円	24,767	23,505	22,339	16,690			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	水道管入力延長	k m	23	23	22.7	23.9			
	指標2	下水道管入力延長	k m	6.3	53.5	52	12.9			
	指標3	下水道人孔・桝・取付管入力数	箇所		3,900	4,652	1,099			
成果指標	指標1	水道管データ入力率	%	100	100	98.6	100			
	指標2	下水道管データ入力率	%	100	100	97.2	100			
	指標3	下水道人孔・桝・取付管データ入力率	%		100	119	100			
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード		9972	事務事業名称	マッピングシステム管理費			所属名	建設課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円		8, 299	9, 771	9, 409	
		その他	千円		15, 206	12, 568	7, 281	
	主な事業費の内訳				委託料20, 759千円 賃借料2, 634千円等	委託料19, 656千円 賃借料2, 634千円	委託料16, 347千円 賃借料232千円	
人件費 (B)			千円	0	3, 996. 9	4, 041. 3	4, 041. 3	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	0	27, 501. 9	26, 380. 3	20, 731. 3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	災害時や突発的に発生する漏水，管路の破損に対し，最新の管路情報が迅速に入手でき，対応できる。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	現時点では所期目的を概ね達成しているが，管路更新は毎年事業としてあるため，今後も事務としては必要。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	緊急時に現場とリアルタイムに処理していくうえで，情報を職員が瞬時に共有，活用できる状態にするためには，民営化はなじまない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	新規のデータを入力管理するためにかかる費用の目的は妥当であり，事務事業で精査することではない。今後より良いシステムが開発されれば見直しが必要。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性がある						
			☐ 効率性向上の可能性がある						
			☒ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	システムのさらなる構築の検討を進める。併せて職員のシステム操作に対する習熟度に差異があるため，研修等により，リテラシーの向上を図る。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☒ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）		
				2		実施主体 （所管部署）			
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
☒ ない									

コード	9972	事務事業名称	マッピングシステム管理費				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			道路台帳，上下水道，地形図の地理情報に関する総合的な地図情報システムを構築し，操作方法の定期的な研修と正確な地図情報をもとに設計積算に応用する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			石綿セメント管改良の増加によりデータ入力が増える	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
議会 マッピングシステムの入力内容について 市庁舎内の他部門の情報を全て入力したマッピングシステムを構築できないか マッピングシステムが有効活用されているか	

所属長コメント	マッピングシステムは上下水道施設などの日常の維持管理に必要な情報が収録されており，この情報を基に管路更新の積算や窓口での迅速な対応をしているが操作方法の研修により事業の効率化や利用者への利便性を図っていく必要がある。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	事業システム自体の効率化と定期的な研修に取り組むこと。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☒ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		